

「地域づくり推進基本方針」改定に向けた 推進会議参加者向けアンケート結果について

結果の概要

① 目的

「八王子市地域づくり推進基本方針」の改定における検討の参考とするため。

② 内容

結果の詳細は、別添「資料3-2」のとおり

③ 対象

長房、川口、みなみ野及び南大沢中学校区の推進会議参加者(対象人数:85)

④ 実施期間

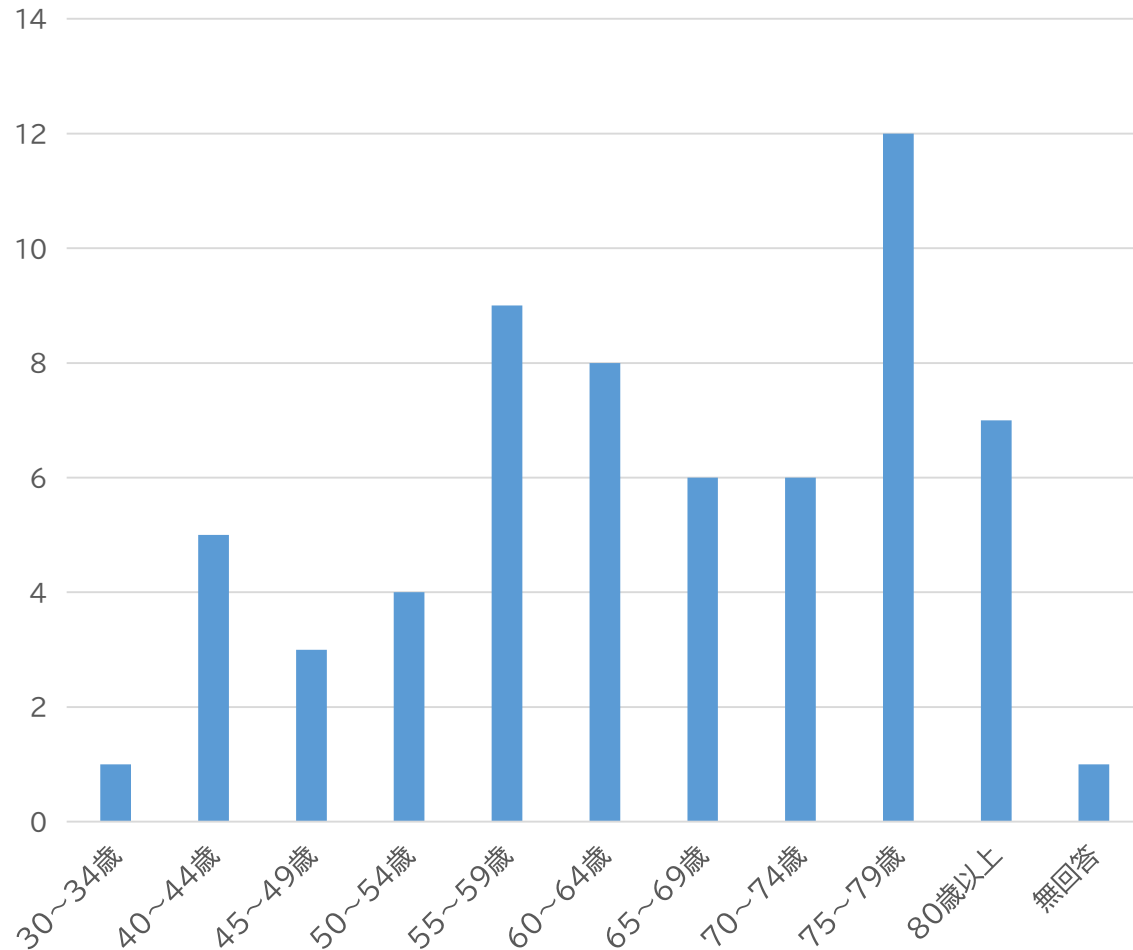
令和5年(2023年)12月2日、9日及び16日に開催した各中学校区推進会議にて実施
※欠席者等については、後日郵送等での提出を依頼

⑤ 回答状況

回答件数:62件、回答率:72.9%

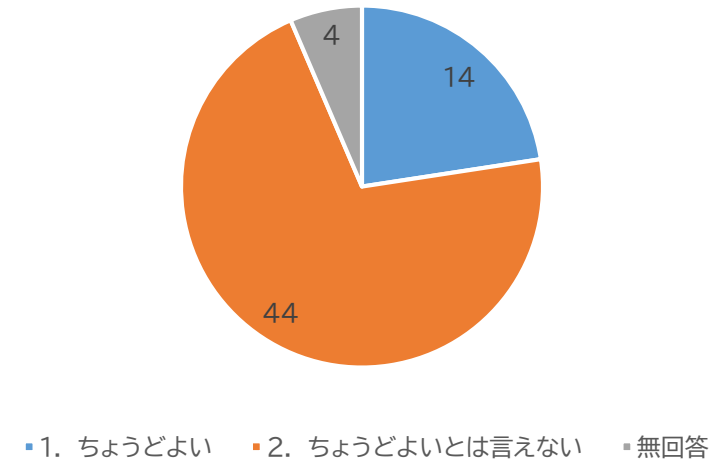
1 推進会議参加者の年齢

回答者の年齢区分(n=62)



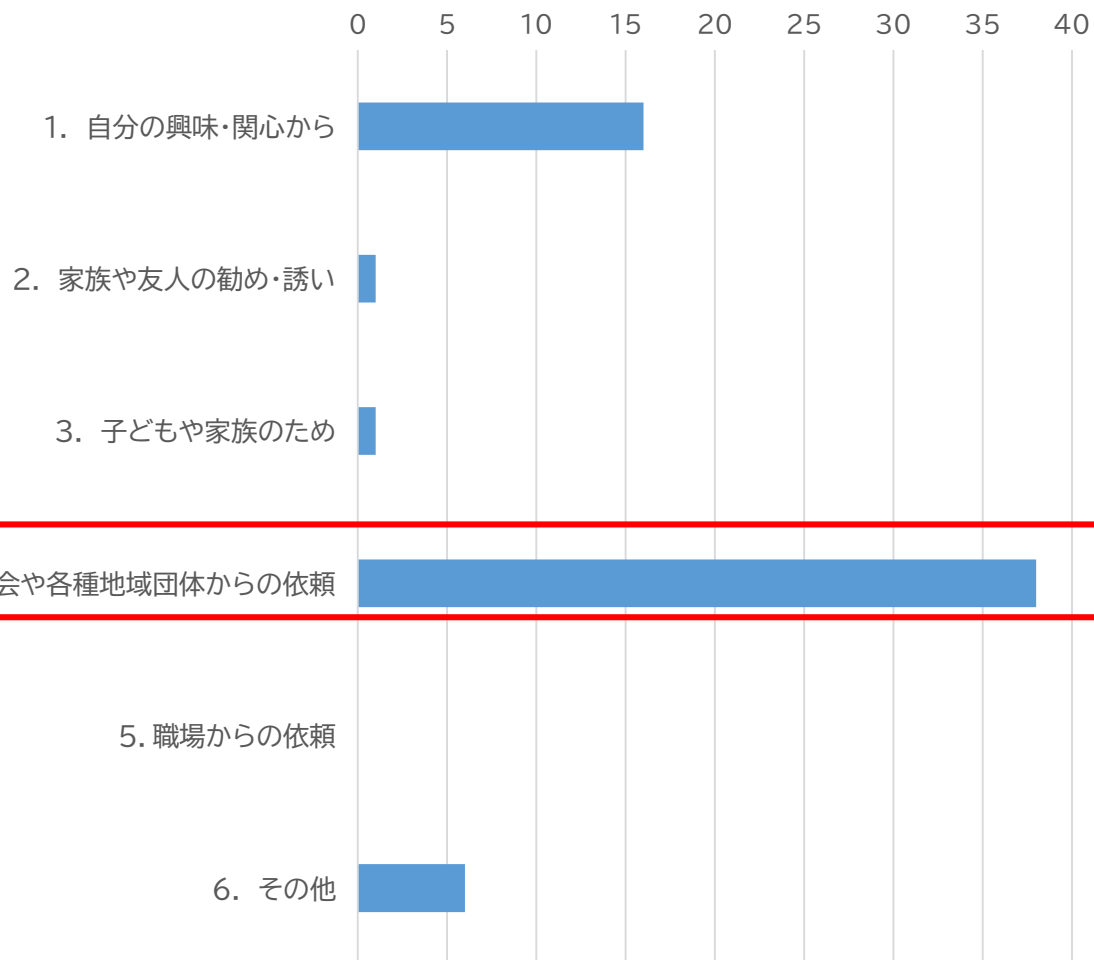
- ◆ 75~79歳が最も多く、次いで55~59歳。30歳未満はいない。
- ◆ 推進会議の構成を適切と考えている人は少ない。
⇒参加者においても、若者世代の参加を求める意見は多い。

推進会議の構成として参加者の年齢層をどのように感じるか(n=62)



2 推進会議への参加理由

回答者における推進会議への参加理由
(n=62)



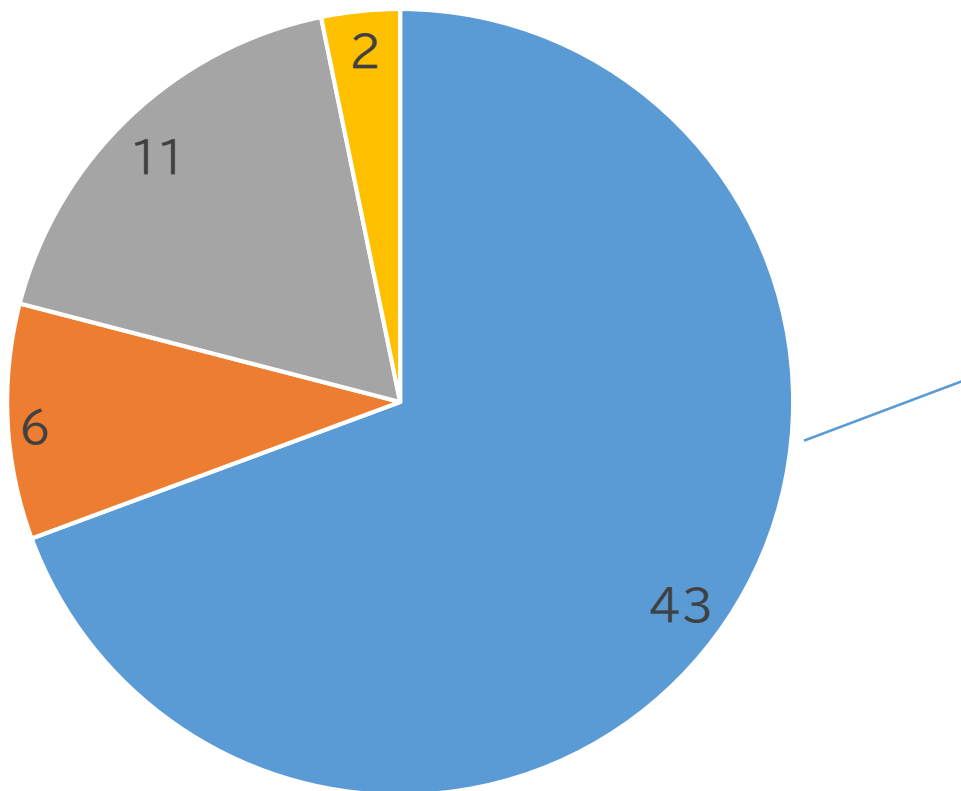
- ◆ 団体等からの依頼による参加が最も多い。
- ◆ 参加者が所属している団体は、町会自治会、学校運営協議会・小中学校PTAの順に多い。

【参加者の所属団体】

町会自治会	29
住民協議会	11
民生委員児童委員協議会	9
青少年対策地区委員会	18
学校運営協議会・小中学校PTA	28
消防団	2
市民活動協議会(NPO法人)	12
地域福祉団体	9
市民環境団体	2
商工会議所・青年会議所	1
高校・大学・大学院・専門学校	1
その他	11

3 期待感の有無（理由）

地域づくりの取組が期待できるものかどうか(n=62)



- 1. 期待できる取組である
- 2. あまり期待できる取組ではない
- 3. 分らない
- 無回答

◆ 半数以上が地域づくりの取組には期待感をもって参加している。
←ただし、参加のモチベーションを有する回答者を対象にしたアンケートであることを考慮する必要がある。

(理由記述欄)

- 自分の住む地域を見つめ直す機会にも
- 地域内各層のメンバーと交流をすることにより、地域の課題をより鮮明に捉える場が出来た
- 高齢者や少子化が進みいろいろな解決すべき諸問題が発生しており、タイムリーな取組と感じる。
- 新たな行政と地域のシステムを創るため
- 地域と行政の対話の接点という新たな機能が生まれる
- 防災、子育て、福祉、全般的に地域が中心にならないといけない
- 面的なコミュニティと団体間の連携を期待できる
- 様々な立場や年齢の方の意見が交換でき、検討・反映に繋がる可能性が大きい取組

4 「地域カルテ」と「地域づくり推進計画」の作成意義

【地域カルテについて】

	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	6	4	15	10	35
2. あまり有意義に感じない	11	5		1	17
3. 分からない	3	6		1	10

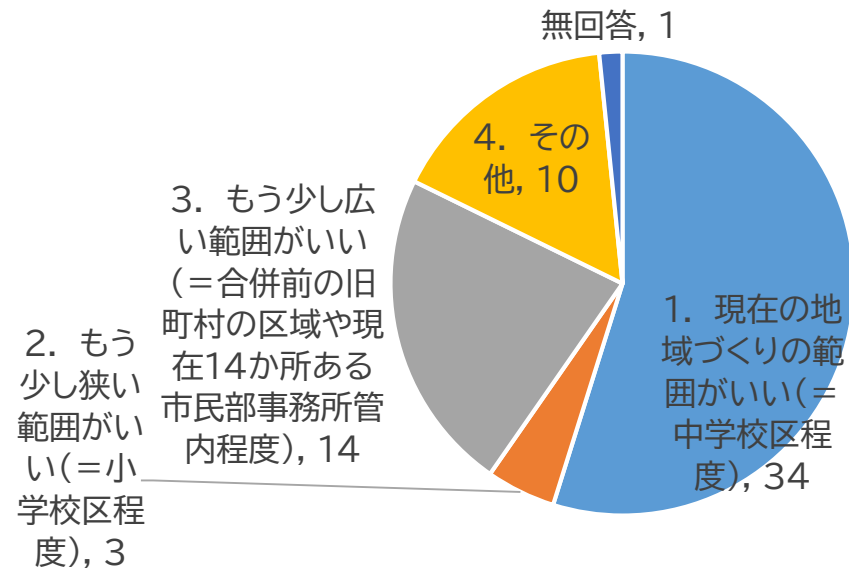
【地域づくり推進計画について】

	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 有意義に感じる	8	6	13	8	35
2. あまり有意義に感じない	6	7	1	1	15
3. 分からない	5	2	1	3	11
無回答	1				1

- ◆ カルテ及び計画の両方で、「有意義に感じる」が最も多い。
- ◆ 中学校区別にみると、モデル地区（長房及び川口）では、「あまり有意義に感じない」が多く、みなみ野及び南大沢では少ない。
⇒ 計画策定後の取組にあたり、カルテや計画の内容をどう活かすか？

5 単位（中学校区）の妥当性

推進会議の範囲をどのように感じるか(n=62)



- ◆ 全体的にみると、過半数の参加者が現在の範囲が妥当だと回答。
- ◆ 中学校区より狭い範囲(小学校区など)を望む意見は少ない。
- ◆ 中学校区別にみると、川口中中学校区では、「もう少し広い範囲がいい」が最も多い。
⇒ 檜原中学校区との連携を視野に入れた回答と史料。

	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
1. 現在の地域づくりの範囲がいい(=中学校区程度)	13	4	7	10	34
2. もう少し狭い範囲がいい(=小学校区程度)	1	2			3
3. もう少し広い範囲がいい(=合併前の旧町村の区域や現在14か所ある市民部事務所管内程度)	2	6	5	1	14
4. その他	3	3	3	1	10
無回答	1				1

6 地域づくり（推進会議）に期待すること

	長房	川口	みなみ野	南大沢	総計
地域の魅力や困りごとに関する共有・意見交換	2	2	1	1	6
地域の活動団体や住民の間における連絡調整	2	1	1	4	8
地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり	8	2	9	2	21
地域と行政との連携・調整	3	2	3	3	11
モデル試行の強みを生かした「八王子版地域自治」の議論・検討・実行	2	6		2	10
地域の魅力や困りごとに関する議論を踏まえた取組実行	3	1	1		5
無回答		1			1

- ◆ 全体的にみると、「地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり」が最も多い。
- ◆ 中学校区別にみると、川口では、「『八王子版地域自治』の議論・検討・実行」が最も多く、南大沢では「地域の活動団体や住民の間における連絡調整」が最多。
 - ⇒ 地域ごとに推進会議の理想のスタイルが異なる可能性。
 - ⇒ 地域の特性やニーズに合った行政の支援が必要であることを示唆。